

アンケート調査結果

令和 4 年 8 月

目次

1.	調査概要	2
1.1	調査の目的	2
1.2	調査対象	2
1.3	調査方法	2
1.4	実施期間	3
1.5	回収実績	3
1.6	調査項目	3
1.7	アンケート調査票.....	3
2.	調査結果	4
2.1	児童・保護者について	4
2.2	運営について	6
2.3	ポストコロナについて	16
2.4	その他.....	17

1. 調査概要

1.1 調査の目的

仙台市放課後子ども総合プラン運営委員会（以下、「運営委員会」という。）における令和3・4年度の審議テーマを、「放課後児童クラブと放課後子ども教室のコロナ禍における事業について」としており、コロナ禍における各事業の実施状況の変化等について現場の状況、意見等を調査することで、運営委員会における議論の一助とすることを目的とする。

1.2 調査対象

児童館児童クラブ 5 館

コロナによる休館の有無を考慮した上で、様々な形態の児童館が含まれるよう選定。

- ① 北六番丁コミュニティ児童館（定員：93 名）
- ② 新田児童館（定員：285 名）
- ③ 通町児童館（定員：130 名）
- ④ 原町児童館（定員：159 名）
- ⑤ 人来田マイスクール児童館（定員：66 名）

放課後子ども教室 2 か所

「工夫しながら継続的に事業を進めた教室」、「実施回数・人数等を減らしながら事業を進めた教室」などの観点で選定。

- ① 東宮城野あけぼの教室
- ② わいわいパーク黒松

1.3 調査方法

上記児童館児童クラブ、放課後子ども教室へ電子メールにて調査票を送付し、回収。

1.4 実施期間

令和4年3月15日～令和4年3月29日

1.5 回収実績

有効回答 7件/7件 (100%)

【内訳】

- ・ 児童館児童クラブ 5件/5件 (100%)
- ・ 放課後子ども教室 2件/2件 (100%)

1.6 調査項目

- 児童・保護者について
 - 児童・保護者等のコロナ禍での変化
- 運営について
 - 児童館児童クラブ、放課後子ども教室内での感染者発生時の小学校、仙台市との連携、利用者対応
 - 小学校での感染者発生時の小学校との連携、利用者対応
 - コロナ禍での事業への影響、事業実施への対応・工夫
 - コロナ禍における職員・スタッフ対応
- ポストコロナについて
 - コロナ禍での事業運営において新たに得られた効果、コロナ禍以降も継続すべき取組
- その他
 - 感染防止対策に関する課題、意見等

1.7 アンケート調査票

別紙のとおり

2. 調査結果

2.1 児童・保護者について

【問1】 児童の様子について、コロナ禍以前とコロナ禍を比較し、変わったと感じる点や気になる点があれば、記載してください。

児童館 児童ク ラブ	・ コロナによる制限を理解しつつも、活動のしづらさが同え、児童の活動が消極的になった時期があった。また、学校行事を含め行事の縮小に、残念な様子や物足りなさを感じている様子が見られた。
	・ 友達が利用を控えていると寂しい気持ちでいる様子が見られた。
	・ コロナによる制限へ馴染まない児童がおり、特定の児童に行動や言動の激しさが見られた。
	・ 外遊びの希望が増え、外で発散するように激しく走り回ったり、大声や奇声を発したりする子どもがいる。
	・ 生活リズムの変化からか疲れている児童が多いと感じる。
	・ 体力の低下からか長期休業中の夕方に昼寝をする児童が増加した。
	・ マスクにより表情が読み取れないことから相手の気持ちに気付けなかったり、自分の考えをきちんと表現する言葉の力がなくなったりしたため、友達と協調できずトラブルにつながるが多くなった。
	・ 少人数あるいは一人での遊びが増えた。友達とうまく遊べない、怖いという感想が聞かれた。
	・ 仲立ちとなって子ども同士の遊びへつなぐ働きかけが増えている。
	・ 感染防止策に対する意識が高まった。
放課後 子ども 教室	・ 使える玩具が限られ、何をしてよいか、戸惑いが見られる児童もいる。
	・ 感染予防に神経質になっている児童もいる。
	・ 小学校で感染者が出た際に、不安で登校できなくなった児童がいた。
	・ マスクから出ている表情が、震災後の大人の顔を想起させた。

【問2】 保護者・家庭の様子について、コロナ禍以前とコロナ禍を比較し、変わったと感じる点や気になる点があれば、記載してください。

児童館 児童ク ラブ	・制限のない行事を望む声が多い反面、制限がある中で工夫して行事を実施することに感謝の声が聞かれた。
	・児童館のコロナ対応に好意的な保護者がいる反面、ほとんど意識していない保護者も若干みられる。
	・通知している文書等を見ていない保護者がいることが残念に感じた。
	・当初は感染した児童がクラブを利用しているか、我が子と接点があったかといった質問する保護者が多かったが、徐々になくなった。
	・コロナに感染すると、いじめを受けるかもしれないという不安を感じている保護者がいた。
	・玄関までの送迎のため、クラブでの児童の様子が見られないことを残念がる保護者が多かった。
	・小学校の学級懇談会などがなくなり、子どもの様子や親としての情報不足に不安を抱える保護者が多かった。
	・就労に影響が出ている保護者がいる。
	・心の病を抱える保護者が増えたように感じる。
	・親の就労状況や家庭の状況が変化し、親がけんかをする、よく怒られるようになったなど、子どもの心に少なからず影響が出ている。
	・家庭における感染予防の意識が高まった。
	・当初は自粛の様子はあまり見られなかったが、感染者発生による閉館を機に自粛する家庭が増えた。
放課後 子ども 教室	・感染状況により急な休止の連絡をしても快諾してもらい、休止を挟みながら開催を続けることができた。
	・児童に消毒スプレー等感染対策グッズを持たせる保護者が増えた。
	・クラブ休止、再開等の問い合わせが増えた。
	・家庭でコロナ対策について、必要以上に不安を与えていないか気になる。

2.2 運営について

【問1】 児童館・教室内で新型コロナウイルス感染症の感染者が発生しましたか？（児童・職員(スタッフ)によらず）

	発生した	発生なし
児童館児童クラブ	5 件	0 件
放課後子ども教室	0 件	2 件

【問2】 発生した場合、学校や仙台市との連携は上手くいきましたか？

	上手くいった	上手くいかなかった	どちらともいえない
児童館児童クラブ	4 件	0 件	1 件

<上手くいった点>

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に連携、連絡体制ができているため、発生時においてもスムーズに連携して対応できた。 ・事前に学校との連携の手順などの共通理解を図り確認したことにより対応がスムーズだった。 ・校長を交えた学校と児童館の連携とコロナに関する相談を申し入れ、相互に確認をした結果、情報のスムーズな伝達と確実な事実確認ができた。 ・夏季休業中だったが管理職と連絡を取り合い、保護者へメールで注意喚起をしてもらった。
仙台市	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に子どもの活動について記録していたため、行動履歴を正確に書くことができ、市への報告が迅速にできた。 ・事前に報告の流れについて、市から運営団体を通して共通認識を持ち対応することができた。 ・保健所と児童の状況や家族の感染の有無等を絶えず情報交換した。 ・あらかじめ報告書の準備をするなど、児童館から本部、仙台市への報告が速くなった。

<その他>

仙台市	・児童クラブ事業推進課からごみの廃棄について確認の問い合わせがあったが、実際に現場を確認されることはなかった。
-----	---

【問3】 発生した場合、利用者等への連絡は上手くいきましたか？

	上手くいった	上手くいかなかった
児童館児童クラブ	5 件	0 件

<上手くいった点>

	・日頃の協力の呼びかけへの理解の結果、ほとんどの保護者から陽性判明の連絡をいただいた。
	・普段から緊急時にはお迎えができるようお願いしていたことで、感染者がでた段階ですぐにメール連絡を送信しお迎えに来ていただくなど、速やかな引き取りにつながった。
	・仙台市の対応マニュアルと運営団体のマニュアルに従い、小学校からの一斉メール配信を確認後、児童館から一斉メール等で対応などを保護者に周知することができた。
	・学校から保護者へ連絡、周知がされた後に、児童館から保護者へ連絡したため、スムーズだった。
	・小学校からの情報と照らし、発症日や家族の様子など抜けなく細かに聞き取ることができた。
	・職員間でも対応について共有し、スムーズに行うことができた。

<その他>

	・保護者から PCR 検査の受検報告等の連絡が滞ることがあったが、その後改善した。
--	---

【問4】 館・教室内で感染者が発生した際、利用者等からの苦情・意見等ありましたか？あれば以下に記載ください。

	・当初は「我が子の学年に感染者はいるか」との問い合わせが数件あった。
	・近隣住民と思われる方から感染者について問い合わせを受けた。

【問5】 学区内の小学校（館・教室内を除く）で新型コロナウイルス感染症の感染者が発生しましたか？

	発生した	発生なし
児童館児童クラブ	5 件	0 件
放課後子ども教室	1 件	1 件

【問6】 発生した場合、学校との連携は上手くいきましたか？

	上手くいった	上手くいかなかった
児童館児童クラブ	5 件	0 件
放課後子ども教室	1 件	0 件

<上手くいった点>

児童館 児童ク ラブ	・児童館からの連絡を速やかに行うよう心掛け、共通理解を図った。
	・事前に館長と教頭で連絡体制を整備し、夜間・休日を含め感染者発生時には速やかに小学校から連絡があったため、その後のスムーズな対応につながった。
	・保護者からの連絡が遅れ、本部の対応できない時間帯となったが、市と直接やり取りをし、スムーズに対応できた。
放課後 子ども 教室	一斉メールにて、速やかに情報発信をしていただいた。

【問7】 発生した場合、利用者等への連絡は上手くいきましたか？

	上手くいった	上手くいかなかった
児童館児童クラブ	5 件	0 件

※放課後子ども教室 学校からの一斉メールにより周知したため、別途対応なし。

<上手くいった点>

児童館 児童ク ラブ	・事前に運営団体でマニュアルを作成していたため、保護者への一斉メール等をスムーズに行うことができた。
	・休校等の場合学校からのメールにて児童館の情報も配信した。また、児童館ホームページでも周知したため混乱はなかった。
	・学校との情報共有により、感染した家庭に状況を聞くことができた。
	・仙台市と直接のやり取りしたのち保護者へ連絡する流れだったが、通常の連絡文書を待つよりスムーズだった。

【問8】 各事業について、コロナ禍によってどんな影響が生じたか、またコロナ禍での事業実施に向けどんな対応・工夫を行ったか、該当するそれぞれの機能ごとに記載ください。

<児童館児童クラブ>

児童ク ラブ事 業	・マスク、手指消毒、黙食等基本的な感染対策を指導し運営を行った。
	・登館時の児童の様子の確認や、体温チェックを実施した。
	・並び位置や座り位置に印をつけるなどして、ソーシャルディスタンスの確保とルールの可視化に努めた。
	・密回避のため、隣の部屋も使うなどして可能な限りクラブ室を広げた。
	・子どもたちの満足度を高める遊びや活動の工夫に努めた。
	・行事について、人数制限、内容変更、換気等を行い、できる範囲で活動実践を続けた。
	・感染リスクの低い遊びの奨励や一人遊びを紹介し、三密を回避した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・小人数やひとり遊び用のおもちゃを準備したり、検定表などを取り入れ、満足度の向上に努めた。 ・保護者説明会は新規登録者のみ参加とし、継続児童の保護者に対しては資料配布のみとした。 ・利用自粛や時間短縮の協力をお願いした。
児童健全育成 (自由来館・遊びの指導・行事等)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の制限・中止により、自由来館が大幅に減少した。そのため、小中高生利用が減少し、異年齢交流の機会が減少した。 ・自由来館の上級生の役割を簡素化し、下級生で取り組める内容に工夫した。 ・対外的な大行事はほとんど行うことができなかった。 ・行事を行う場合も申込制として人数制限を設けたり、屋外を利用した活動に取り組んだりした。 ・事業の実施期間を拡大し、少人数ずつでも多くの子どもが参加できるように変更した。 ・遊びの提案や児童館に集まらなくても子どもが参加できる仕掛け（ゲームや本の紹介、イラストコンクールなど）を実施した。 ・自由来館の中止や解除について、メールやお知らせの掲示、文書配布により周知を図った。 ・来館者の連絡先の確認や体調確認等感染防止に気を使った。
子育て家庭支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を縮小しつつ、最大限の感染予防対策を講じ、安心安全な居場所の提供に努めた。 ・遊びのコーナーを工夫し、午前午後の入れ替え時に居室、遊具の消毒を実施。 ・利用者のニーズに応え、イベントも予約制にして実施した。 ・地域訪問を館内活動に変更するなどして行事を実施した。 ・人数制限等の上乳幼児親子向けの遊びのサロン活動を始めた。 ・遊び場や交流場所がなく、孤独を感じているという声を聞いた。

	・近隣の保育園や幼稚園の協力のもと、乳幼児家庭向けのおすすめレシピを児童館だよりとして発信している。
	・長期休業中は児童クラブとの関係で実施できなかった。
地域交流	・地域ボランティアや町内会の理解を得ながら、内容変更や規模縮小を行いながらも地域活動や連携事業実施に努めた。
	・これまでの関係性が途切れぬよう、常に児童館から情報発信を行い、相談して地域交流の継続を図った。
	・行事や地域連絡会等が中止となった。
	・つながりを継続させながら実施できる形態で行事を行った。
	・感染対策を十分行った上で、中学生の職場体験を受け入れ交流を深めた。
その他	・事業の中止や縮小を余儀なくされたが、感染対策や利用制限等の工夫を行い、事業実施に努めた。

<放課後子ども教室>

子どもの安全な居場所確保	・事業の休止を余儀なくされた。
	・運営における感染症対策を徹底した。
	・人数制限を設定し、距離をとった状態でできる活動に切り替えた。
学習支援・自由遊び・講座等	・自由遊びは全面的に中止した。
	・夏休みの施設利用ができなかったため、講座が開設できなかった。
	・クラブの休止により、学習支援も減った。
地域交流	・児童館との共催事業が中止となった。
その他	・開催休止期間もお便りを頻繁に発信し、放課後子ども教室の周知に努めた。
	・クイズ形式のお便りを作成し、学校図書室と連携して実施した。図書室の利用向上にもつながり、学校にも貢献できた。

【問9】 コロナ禍における職員・スタッフの対応について、苦勞した点や工夫した点はどのようなことでしょうか？該当する項目に記載ください。

<児童館児童クラブ・放課後子ども教室共通>

手指消毒・マスク着用の徹底	・運営団体が早期のマスクや消毒液の確保に努めたため、業務に支障なく、手指消毒・マスク着用の徹底が図れた。
	・職員同士で情報共有を図り協力しながら、徹底を図ることができた。
	・マスクの正しい着用ができない児童がおり、都度指導を実施した。
	・活動の区切りなど、こまめな手洗い・手指消毒を徹底した。
	・声かけがなくとも、児童一人ひとりが徹底していた。
	・子どもにやさしい言葉を用いたポスターを作成・掲示している。
3密の回避	・当番の人数制限を行い、子どもたちとも距離をとることを徹底した。
	・職員の共通理解を図りながら、児童のストレスにならない程度に粘り強く声かけをした。
	・夢中になる児童へ絶えず声かけをし、改善を促した。子供たち同士の声かけもみられた。
	・低学年は絡み合うことが多く、声かけをしても改善がみられないこともあった。
	・細かに注意するのではなく、テープで位置を示すなど、子どもの判断を助けるよう工夫した。
	・向かい合わないで遊ぶことを徹底した。また、机を2つ並べ距離をとるよう工夫した。
	・密になりそうな玩具を撤去した。
	・行事の参加人数の制限を実施するとともに、校庭を使用できるときは外遊びを充実させた。
	・遊び場所を工夫したり、時間を区分化したりして対応した。
	・活動ごとに部屋を分けたり、活動の工夫を行ったりした。
	・他の施設の利用者とできるだけ利用が重ならない工夫をした。

利用自 粛の働 きかけ	・メールや文書による周知を図り、意識的に協力してくれる家庭も多かったが、家庭により温度差があった。
	・文書配布の対応は行ってきたが、コロナ発生初年度程の効果がなくなっていった。
	・児童クラブを利用していない家庭へも文書を配布するため、学校のポスティングを利用した。
	・郵送により例年よりも通信費がかかった。
	・利用者多数の場合利用を断ることがある旨を事前に通知した。
施設内 や備品 の消毒 作業	・消毒作業時に人数が集まらないよう工夫して対応した。
	・担当を置いて消毒表を活用し、抜けがないよう努めた。
	・毎週のミーティングで見直しを行い、過剰や不足がないよう対処した。
	・消毒作業に関するマニュアルを作成し対応した。
	・作業業務の明確化と館内表示を実施した。
	・施設内及び主な玩具に光触媒コーティングを行った。
	・通常の清掃業務に加え、消毒作業を行う必要があり、職員の負担が大きい。
	・消毒作業の時間や体制の確保に苦慮している。
	・全館消毒などにより、予算の8倍以上の費用がかかった。
定期的 な換気	・開館前及び数時間毎の換気に加え、24時間換気システムを利用した。
	・常時数か所の窓を開けるとともに、サーキュレーターを設置し、空気循環を行った。
	・冬季も常時換気を行っており、室温が上がらず寒さを感じる時がある。
自らの 感染予 防	・県外の人と接触があった場合や家族の学校・職場で陽性者が出た場合は、安全が確認されるまで休んでもらった。
	・基本的な感染予防の徹底、リスクのある行動の自粛。
	・出勤時に体温表へ記入し、館長が体調確認を実施。

	<ul style="list-style-type: none"> ・食事は一部屋にひとりとするほか、勤務時間外の行動意識についてもミーティングなどで常時確認を行っている。
職員・スタッフ配置	<ul style="list-style-type: none"> ・必要最小限の職員配置により運営を行った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ緊急連絡網による情報共有を行ったり、館内設置のノートなどを活用したりして、連絡の徹底を図った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング時の体調報告のほか、体調管理記録簿の記載を徹底している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食時には職員間で十分な距離を確保するとともに、黙食の徹底を図った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋、遊びの内容や児童名を時間ごとに記録することで、陽性者発生時の報告がスムーズにできた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種を推奨するとともに、副反応に対する勤務対応を行った。
児童対応	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用での活動が多いため、児童の体調観察に気を配った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・常時マスク着用により児童の表情が見えにくいため、声掛け等の対応の徹底を図った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士の間隔に注意を払い、1か所に集中することがないように声掛けを行った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びのルールを工夫し、参加人数や時間を制限した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇ちゃんコロナでしょ。」といった会話を聞くなかで、個人情報の漏洩やいじめにつながることを職員間で意識した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・注意や禁止の声掛けではなく、児童の頑張りを認めたり、言い分やストレスをよく聞いて受け止めたりするよう努めた。
保護者対応	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策として、保護者の送迎は玄関までとしているため、お迎え時に児童の様子をできるだけお伝えするよう努めたほか、玄関に行事や日常の様子の写真掲示を行った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・お便り等で活動内容を報告した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会を複数回に分けて実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱や体調不良時の利用自粛をお願いしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭で感染対策や認識に温度差があるため、家庭に併せた丁寧な説明を心がけた。
学校対応	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室が中止中だったため、6年生の卒業イベントの開催は中止を余儀なくされそうだったが、学校の協力を得て、授業中に実施してもらい、思い出作りを行うことができた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライト室として学校教室を使用しているが、学校の感染要望対策への取り組みに児童館との温度差を感じた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策や感染状況を絶えず情報共有を行うほか、陽性者発生時には濃厚接触者の有無など連絡を密にした。
	<ul style="list-style-type: none"> ・以前と比べ、学校との情報共有がスムーズになった。
仙台市 担当課 対応	<ul style="list-style-type: none"> ・安心第一を徹底するため、不安な部分は相談させてもらったが、丁寧にご対応いただいた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・休止や再開決定が直前になることが多く、保護者への連絡に苦慮した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の大変さをくみ取ってくださると感じる事が何度かあり、心強かった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・近年は児童館利用のご家庭が増加しており、放課後子ども教室の利用者が減ってきているが、コロナ禍においては人数制限を設けた活動だったのでちょうどよかった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・机がない場所ではジョイントマットを使用し、児童と児童の距離を確実に確保できるよう工夫した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者発生時の報告に向け、カメラで記録するほか、居室ごとにクラブ日誌を記録した。

2.3 ポストコロナについて

【問1】 今後も新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながらの事業運営は必須であると想定されますが、以下について、自由に記載してください。

① コロナ禍での事業運営において新たに得られた効果について

児童館 児童ク ラブ	・事業中止中に利用者の声を聴き、あらためて「児童館・のびすく」としての役割、重要性を実感することができた。
	・コロナ禍で工夫しながら事業を行う中で、地域や関係機関とこれまで以上に連携を図るようになり、信頼関係が深まった。
	・行動記録の作成を通して、児童の活動把握・職員配置などのノウハウを蓄積することができた。
	・行事企画において、安全面や衛生面なども検討する習慣が身についた。
	・消毒作業を通して、そのほかの感染症も防ぐことができていると思う。
	・地域住民や地域の子どもたち向けの企画実施により、手ごたえや新たな展開について可能性を感じるすることができた。
放課後 子ども 教室	・休止中に実施したお便りが想像以上の効果であったため、今後の展開によっては子どもたち主体の何かにつながる未来が見えてきた。
	・生涯学習課と連絡を取ることが増え、相談事などがこれまで以上にしやすくなった。

② コロナ禍以降も継続すべき取組について

児童館 児童ク ラブ	・オンラインでの研修・交流について、移動時間の短縮や参加しやすさ等から今後も継続してほしい。ただ、オンラインとしても構わない内容かどうかの精査も必要。
	・新型コロナウイルス感染対策がインフルエンザ等の感染防止にもつながったと思われるため、コロナ終息後も感染予防対策を徹底していきたい。
	・コロナ禍により中止となった事業がある一方で、地域との関係性がこれまで以上に深まったため、関係性を深めていきたい。

放課後 子ども 教室	・教室を利用していない児童もたくさん参加してくれた、クイズ形式のお便りに ついて、今後も継続していきたい。
	・衛生面からも消毒を継続していきたい。
	・生涯学習課・学校・保護者との速やかな情報共有を意識していきたい。

2.4 その他

【問1】 感染防止対策に関する課題やご意見、今回の調査に関するご意見・ご質問等があれば、自由に記載してください。

児童館 児童ク ラブ	・感染予防対策として施設消毒を行っているが、時間と職員配置に苦慮してい る。今後、コロナ禍以前の運営状況に戻ればさらなる負担となる。児童クラブ登 録者数の増加に伴い、事務作業も増えていることも踏まえ、職員の業務負担の軽 減につながる改善策を検討いただきたい。
	・児童クラブの利用回数の確認作業は、相当の手間と労力を要するため、大規模児 童クラブにとっては日々大変な業務量であった。
	・単独館ではないため、児童クラブとして使用できる範囲が狭く、体調不良者の 隔離ができなかった。年々登録上限数は増加しているが、施設拡充がなく、児童 の安全対策や感染防止対策に頭を悩ませている。
放課後 子ども 教室	・他の教室の感染防止対策や開催時の工夫などを知る機会があるとうれしい。
	・今後も油断することなく、感染防止対策を継続していくしかないと思う。